

さんべっこ

気づき 考え やりとげる

令和7年2月28日

「ありがとう」がいっぱい



主役の6年生



バトンを引き継いだ5年生



素敵な飾りつけ

2月21日(金)に「卒業を祝う会」が開催されました。会場の体育館は、常時和やかで温かい雰囲気に包まれ、6年生に感謝の思いを伝えようと、学年の出し物に一生懸命取り組む姿や大きな声を出して歌を歌う姿があちらこちらに見られました。また、それを受け止めている6年生の姿に微笑ましさを感じられました。

裏方に徹した5年生は2学期のうちから、「どのような会にしたいか、どうしたら6年生に喜んでもらえるか、どうしたら『ありがとう』の気持ちが伝わるか」ということをテーマに話し合いを重ねてきました。また、5年生からの提案を受けて、1～4年生も学年の出し物や会場の飾り付けに思いを込めて準備を進めていました。このような一人一人の温かい気持ちが素敵な時間を作り出したのだと思います。伝統のバトンを引き継いだ5年生には、新しい学校のリーダーとして、ここからの頑張りに期待するとともに、4年生と協力して学校を引っ張って行ってもらいたいです。

今年度も、残りあと1か月となりました。3月は学年のまとめをする場面がたくさんあります。自分たちの成長を振り返り、次の学年での活躍のためにも新たな目標を設定することが、さらなる成長につながります。自身の強みを今後に生かすのはもちろんですが、課題から目をそらすことなく、課題克服のための目標や手立てについても真剣に考えてみるのが大切です。御家庭や地域でも成長を認め励ましていただくとともに、新たな目標を立てる場面を作っていただきたいと思います。

「SDGs活動し隊」が優秀賞を受賞！



今年度、4年生はSDGsをテーマに探究活動を進めてきましたが、その取組をまとめて「静岡県SDGsスクールアワード2024」に応募したところ、小学生の部で優秀賞を受賞いたしました。2月17日に静岡市で行われた表彰式に参加し、7人全員で喜びを分かち合いました。

一人一人が感じている課題やクラスみんなの課題をどのように解決できるかを考えつつ、地域のごみ拾いをしたりストローの使用を控えるように全校児童に呼びかけたりするなど、「行動に移した」ところが評価されたものでした。これからの探究活動にも期待しています。4年生、おめでとう！



第5回学校運営協議会の報告 ～次年度に向けて～

2月26日(水)に第5回学校運営協議会(ごんべっこコミュニティ・スクール)が開催されました。今回の協議のメインは、次年度の学校経営方針についてでした。校長からの提案に対し、学校再編も踏まえた様々な御意見が出されました。

○協議内容

1 次年度の学校経営方針(案)について

- ・学校教育目標「気づき 考え やりとげる」
 - ・学校経営目標「主体性が育つ学校 ～やってみたいがあふれる学校～」
 - ・合言葉「『やってみたい』をやってみよう！」
- ＊合言葉は、子供たちとのやり取りの中で生まれた言葉を採用する。
- ＊次年度も主体性を育む取組、働きかけを継続する。特に授業の中での「主体的な学び」、「探究活動の充実」に力を入れていきたい。
- ＊学校再編が正式に決まったことを受け、富一小との交流や情報交換をこまめに行うとともに、下和田・呼子の良さを実感できる活動を推進していく。
- (意見)・4年生のSDGsへの取組が表彰された。自分たちに何ができるかを主体的に考え行動に移した結果だと思う。こういう取組を積極的に展開していくことが大事だと思う。
- ・裾野市や富二小には富士山がきれいに見える良さがある。地域探訪等を実施して地域の良さを知り、誇りを持ってもらいたい。

2 次年度の教育計画(案)について

- ・2学期の行事の多さを解消するため、富二小まつりを6月末に変更。音楽発表会は2学年ずつ3回に分けて朝の時間に実施する。
- ・学校再編を踏まえ、最終年度(8年度)の大きな行事や交流の時期を来年度の早い段階から協議していく必要がある。
- ・今年度中止にした富中校区4校合同の引き渡し訓練は、5月2日(金)に実施予定。

3 次年度の地域学校協働本部(ごんべっこサポータークラブ)について ※下段参照

- ・延べ人数にして300人の協力があった。今年度もたくさんの活動を実施してきたが、「毎年〇年生は△△をやっているから」ということではなく、子供たちの主体性の伸長につながる活動にしていきたい。
- ・新たに始めた「富二小応援団」の活動については、活動方法に検討の余地がある。子供と関わる活動も含め、活動に幅を持たせていきたい。

第2回地域学校協働本部(ごんべっこサポータークラブ)実行委員会の報告

学校運営協議会のあと、地域学校協働本部(ごんべっこサポータークラブ)の実行委員会を行い、教頭やコーディネーターから活動報告をし、今年度の振り返りをしました。先述したように延べ300人の協力者があったことを受け、改めて地域に支えられた学校であることを実感するとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

こちらの会でも、今年度から新たな取組として始めた「富二小応援団」の活動について、「環境美化以外の活動ができないものだろうか。」との意見が出されました。

また、学校再編による2年後の閉校を踏まえ、「地域に愛着が持てる人になってほしい、そのための活動が展開できないだろうか」、「伝統のリコーダーを何らかの形で残せないか」等々、地域コミュニティの活性化にもつながりそうな意見もありました。残り2年の充実した活動につなげるため、引き続きの御支援、御協力をお願いいたします。



感謝の会での交流活動